

令和 7 年 4 月 1 日

提出日を御記入ください。

老人クラブ名 ●●●●クラブ

会 員 数 30 名

会長氏名 川崎 太郎

会長住所 川崎 区 宮本町1番地

電話番号 ●●● - ●●●●

なお、補助金の使途に関する一切の責任は、私が負うものといたします。

カルッツかわさき

よく使う代表的な開催場所をお書きください。

**太枠部分が必須記入箇所です。
(全ページ共通)**

「令和7年度事業計画書兼支出予算内訳書(3)」の下欄の「今年度補助金要求額」を転記してください。

第5号様式

令和7年度 新規老人クラブ予算書(2)

〔収入の部〕

老人クラブ名 ●●●●● クラブ

科 目		金 額	説 明
補助金	運 営 費 社会活動促進費	75,600 円	運営費と社会活動促進費の合計額を記入してください。
	結成費	4,500 円	新規結成老人クラブのみ計上
会 費		90,000 円	@ 3,000 円 × 30 人
そ の 他 (寄付金等)		29,900 円	
合 計		200,000 円	市からの補助金及び会費以外で、収入があれば記入してください。

〔支出の部〕

事 業 区 分	金 額	説 明
健康づくり事業 ①	40,000 円	令和7年度老人クラブ事業計画書兼支出予算内訳書(3)から転記してください。
生きがい事業 ②	90,000 円	
社会奉仕活動事業 ③	30,000 円	
事業費計 (①～③の合計)	160,000 円	補助対象経費となります。 補助金の算定根拠となります。
そ の 他	40,000 円	補助対象外経費です。
合 計	200,000 円	飲食費や景品、市老連、区老連の会費などは補助対象外なので、こちらに記入してください。

※ 事業費計に応じて補助金額が決まります。

収入の部の合計金額と、
支出の部の合計金額は、
同額になるようにしてください。

第3号様式

令和7年度老人クラブ事業計画書兼支出予算内訳書(3)

老人クラブ名

●●●●クラブ

	主な活動	予算	
① 健康づくり事業	スポーツ活動	30,000	円
	健康学習等	10,000	円
	いきいき体操	0	円
	体力測定	0	円
			円
			円
		合計額を記入	円
	小計 ①	40,000	円
② 生きがい事業	レクリエーション	40,000	円
	講演会参加	20,000	円
	定例会 (飲食費等を除く)	30,000	円
			円
	定例会の額が6万円を超える場合、 「会議費等が多額である理由書」が必要です。	合計額を記入	円
			円
	小計 ②	90,000	円
③ 社会奉仕活動事業	ボランティア	5,000	円
	地域見守り活動	10,000	円
	地域清掃	7,000	円
	次世代育成支援	8,000	円
	子育て支援	0	円
			円
			円
		合計額を記入	円
	小計 ③	30,000	円
	①～③ 今年度事業費計	160,000	円
	今年度補助金要求額	75,600	円

※「事業費計」の額をもとに要求額を選択してください。
(要求額) 75,600円、64,800円、54,000円、48,000円、24,000円

「手引」の1ページを
御確認ください。

令和7年度老人クラブ事業計画書兼支出予算内訳書
(継続用紙) (3-2)

老人クラブ名

[illegible]

市外在住・60歳未満も
含めた人数を記入

会員数合計35名、うち5名が市外在住者だった場合の記入例

老人クラブ会員名簿

会員 合計	35 名	※市外在住・60歳未満 も含めた人数を記入	老人クラブ名	●●老人クラブ
----------	------	--------------------------	--------	---------

市内在住・60歳以上の会員数 (補助金交付の根拠となる会員数)	30 名 (男 15 名・女 15 名・その他 0 名)
------------------------------------	------------------------------

番号	氏名	性別	年齢	住所
1	〇〇 〇〇	女	5	川崎市〇〇区〇〇町〇
2	〇〇 △△	男	72	川崎市〇〇区△△△△番□□号
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

性別の内訳も記入

市内在住・60歳以上の会員数を記入

原則住所を記入してください。

期日までに記載できない場合は、
固定電話でも構いません。
(川崎市内・市外居住者を判別
するため。)

【こんなケースでは??】

①2つ以上のクラブを掛け持ちしている方がいる場合

→この名簿については、どちらか片方にしぼって下さい。

②川崎市外居住者や60歳未満の会員がいる場合

→老人クラブ会員名簿に記載して差し支えありませんが、補助金の交付の根拠になる「会員数」にはならないため、「市内・在住・60歳以上の会員数」の人数には含めないでください。

4月1日時点で記載してください。

令和 7 年 4 月 1 日 現在